

淀協・東日本地震対策本部ニュース

No6 2011.3.19 淀協東日本地震対策本部

淀協・緊急報告会(3/18夜)に108人が参加 懸命でリアルな支援活動の報告に広がる確信！

11日(金)に東日本に大地震と津波による大被害に加え、今は原子力発電所の爆発による高濃度の放射線漏れは、見えない不安が被災地に広がっています。地震発生後すぐに支援活動を展開し、第一次支援隊と、第二次支援隊の一部が帰阪し、緊急の支援報告会を開催。108名が参加し熱心に聞き入りました。

支援報告は、鈴木医師から病院や避難所で診療した経験をリアルに報告。全体に来られる患者さんは体が冷たく低温気味、やはり真冬並みの気候が避難者に追い打ちをかけています。

金医師からは、診察する中で、家が流されてせん妄状態の方や、リストカットを繰り返す方の状況と共に、自分の職場がこういった支援活動を熱心にやる職場であることに確信を持ち、送り出すために支えてくれた職場への感謝が述べられました。

今村総師長からは、助かっても、亡くなった家族を思うと罪悪感にとられる方を見るにつけ、こちらまで心を痛めてしまう現状が報告されました。

鵜瀬副事務長からは、写真をもとに現地の様子に感想も言葉もなくし、最後は写真も撮るのをやめてしまったと報告がありました。武田部長・坂本書記長からは、車で片道16時間かけて11県を通り現地に着くまでの様子も伝えられ、途中原発で足止めさせられたことへの不安と怒りも語られました。支援活動は、長期戦です。支援に行く方も職場で支える方も、心をつなげて支援活動を展開していきましょう！！



本日までに寄せられた義援金

職員	のべ 2,876,855 円(246 人)
職員外	のべ 320,744 円
合計	のべ 3,197,599 円

本当に、ありがとうございました

第4次支援隊が出発します

中村賢治医師	3/19(土) 東京泊～3/24(木) 帰阪
園部光香看護師	3/19(土) 東京泊～3/24(木) 帰阪